

第二十一回純黄賞

作品 印出美由紀 (神奈川)

右に贈ることを決定した

令和六年七月

コスモス短歌会

第二十一回純黄賞の選考経過

五十歳以上の会員で入会後七年以内の新人を対象とし、今年恒例により、二〇二三年の一月号から十二月号まで一年間のコスモス掲載作品から選考された。

まず選者団より1位から3位までの推薦を求め、高野、影山、桑原、狩野、小島ゆ、木畑、大松、田宮、津金、小山、福士、藤野、

風間、田中、橘、水上比、鈴木竹、原賀、水上美、大野、松尾、鈴木千、小島な、小田部、齊藤の各氏より回答があり、被推薦者は9名であった。その結果、印出美由紀40点、永田恵美26点、荒川ゆみ子20点、高橋みどり15点、人見江一10点、丸山克介8点、高山幸子6点、北祐二郎3点、大池アザミ1点となり、五月一八日編集会で検討して、印出美由紀氏への授賞を決定した。

感想

印出美由紀

この度純黄賞をいただきますこと、これは自分ひとりではなし得ず、ひとえに先生方のご指導ご助言のお陰であり、また、歌を通しての皆様との関わり、日頃の無数の出会いや関わりの賜物でもあります。心より感謝申し上げます。

初めて参加した歌会以来、互いの歌を味わい高め合う先輩方のお姿に、短歌があればこんなな豊かに生きることができるとかど憧れています。短歌の魅力にひかれるまま、あと

略歴

一九六一年 兵庫県生まれ
二〇一八年 コスモス短歌会入会
二〇二四年 第七十回〇先生賞受賞
神奈川県川崎市在住

